

参考様式（第 16 条第 1 項関係）

施工状況報告書

年 月 日

（第一面）

1 建築物の概要

工事を完了した住宅の名称※	
工事を完了した住宅の所在地※	
工事施工者※	

## (第二面)

## 1 集合住宅等の単位住戸の番号※

--

## 2 仕様規定の基準による適合の確認

(断熱性能)

検査する分類及び種類		施工状況報告欄		施工状況確認欄			
		関連 図書※	管理の 時期※	確認 内容	検査の方法	判定結果(適・不適) 及び指摘事項の記録	
外皮の 断熱性 能等	屋根			1	、	・	
				2	、	・	
				4	、	・	
	天井			1	、	・	
				2	、	・	
				4	、	・	
	壁			1	、	・	
				2	、	・	
				4	、	・	
	床	外気に接 する部分			1	、	・
					2	、	・
		その他の 部分			1	、	・
				2	、	・	
				4	、	・	
土間床 等の外 周部の 基礎壁	外気に接 する部分			1	、	・	
				2	、	・	
	その他の 部分			1	、	・	
				2	、	・	
				4	、	・	
開口部 の断熱 性能等	窓			1	、	・	
				3	、	・	
			4	、	・		
	ドア			1	、	・	
			3	、	・		
			4	、	・		

(設備の省エネルギー性能)

検査する種類	施工状況報告欄		施工状況確認欄		
	関連 図書※	管理の 時期※	確認 内容	検査の方法	判定結果(適・不適) 及び指摘事項の記録
照明設備			1	、	・

			4	、	、	・
暖房設備			1	、	、	・
			4	、	、	・
冷房設備			1	、	、	・
			4	、	、	・
給湯設備			1	、	、	・
			4	、	、	・
浴槽			1	、	、	・
			4	、	、	・
配管方式			1	、	、	・
			4	、	、	・
水栓			1	、	、	・
			4	、	、	・
全般換気設備			1	、	、	・
			4	、	、	・

### 3 性能規定の基準による適合の確認 (断熱性能)

検査する分類	施工状況報告欄		施工状況確認欄			
	関連 図書※	管理の 時期※	確認 内容	検査の方法	判定結果(適・不適) 及び指摘事項の記録	
断熱性能			1	、	、	・
			2	、	、	・
			3	、	、	・
			4	、	、	・

### (設備の省エネルギー性能)

検査する分類及び種類	施工状況報告欄		施工状況確認欄			
	関連 図書※	管理の 時期※	確認 内容	検査の方法	判定結果(適・不適) 及び指摘事項の記録	
設備の省エネルギー性能			1	、	、	・
			4	、	、	・
照明設備			1	、	、	・
			4	、	、	・
暖房設備			1	、	、	・
			4	、	、	・
冷房設備			1	、	、	・
			4	、	、	・

(第三面)

1 再生可能エネルギー利用設備の設置の確認

検査する種類	施工状況報告欄		施工状況確認欄		
	関連 図書※	管理の 時期※	確認 内容	検査の方法	判定結果(適・不適) 及び指摘事項の記録
太陽光発電システム			1 4	、 、	・ ・
太陽熱利用システム			1 4	、 、	・
地中熱利用システム			1 4	、 、	・
設置なし			4	、 、	・

(注意)

## 1 各面共通

- (1) ※の付されている欄は、工事施工者が記入してください。
- (2) 様式内の欄に記載事項が入らない場合は、別添用紙を用いることができます。この場合にあつては、別添用紙に番号等を付し、該当する欄に当該番号等を記入してください。

## 2 第一面関係

- (1) 「工事を完了した住宅の名称」欄には、認証を受けようとする住宅が特定できる名称を記入してください。同一敷地内に複数の認証を受けようとする住宅が存する場合には記号等を用いて区別してください。未定の場合は、その旨を記入してください。
- (2) 「工事を完了した住宅の所在地」欄には、認証を受けようとする住宅が特定できる住居表示を記入してください。未定の場合は、その旨を記入してください。

## 3 第二面関係

- (1) 第二面は単位住戸ごとに作成してください。ただし、適合する水準、断熱性能及び設備の省エネルギー性能の適合を確認する際に選択した基準並びに設計内容が同一である単位住戸は、まとめて作成することができます。この場合にあつては、「集合住宅等における単位住戸の番号」欄には該当する住戸番号をすべて記入してください。
- (2) 「集合住宅等における単位住戸の番号」欄には、集合住宅等において当該施工状況報告が特定できる番号を記入してください。
- (3) 断熱性能及び設備の省エネルギー性能のそれぞれについて、適合を確認する際に選択した基準の欄に記入してください。

## 4 第二面及び第三面関係

- (1) 「施工状況報告欄」の「関連図書」欄には、施工状況の証左となる施工関連図書の名称を記載してください。同一名称の図書が複数にわたる場合は、記号、頁番号等により、容易に区別ができるようにしてください。
- (2) 「施工状況報告欄」の「管理の時期」欄には、施工し、その施工状況報告を整備した時期を記入してください。
- (3) 「施工状況確認欄」は、検査を行う者がその左の欄の記載事項を確認したことを記録するために用いてください。
- (4) 「施工状況確認欄」の「確認内容」欄には、検査する分類及び種類に係る施工状況を確認した内容について、1：部材、建具及び設備等の種類、性能・品質、寸法並びに位置、2：部材相互の構成方法及び接合方法、3：付属部材の種類、寸法及び位置、又は4：その他必要な事項の確認のいずれかの番号により記入してください。
- (5) 「施工状況確認欄」の「検査の方法」欄には、確認内容ごとに実施した検査の方法について、A：実物の目視、B：実物の計測又はC：施工関連図書の確認のいずれかの記号により記入してください。
- (6) 「施工状況確認欄」の「判定結果」欄には、設計確認審査を受けた当該住宅に係る設計図書のとおり、工事が行われているかについて、不適合箇所が判明した場合には「不適」と、それ以外の場合には「適」と記入し、「不適」と記載した場合には、工事施工者に対して行った不適合箇所の指摘事項を記入してください。